

グローバルでのマネジメント強化

1988年 東洋インキグループは本格的なグローバル展開を開始し、マレーシア、アメリカ、中国にグループ会社を設立しました。現在では、売上高の42% 社員の60%を海外が占めています。東洋インキグループは、グローバル市場での競争を勝ち抜くと同時に、ステークホルダーから十分な信頼を得るため、グローバルでのマネジメントを強化しています。

●グローバルマネジメントフォーラム

2018年6月と11月に「グローバルマネジメントフォーラム」を開催しました。グループ経営会議メンバー、各地域の代表・各社の社長・取締役および関連部門長がグループのグローバル戦略・施策や、各地域の事業戦略課題の共有などを行い、フォーラム後に「共同声明」を発信しました。



グローバルマネジメントフォーラム

●情報発信と共有化

東洋インキグループは、拠点運営に有用な業務の標準化を進めており、2015年度に「拠点経営ガイドブック」を作成し海外の関係会社に配布しています(2018年1月に第2版を配布)。また、人事の基本的な考え方を体系化した「人事ポリシー」を配布し、人事に関するビジョン・戦略の共有を図っています。

●グローバルでの生産支援

東洋インキ(株)埼玉製造所では、海外の生産拠点からの研修受け入れや新工場の立ち上げ、既存拠点の生産支援などを行っており、2014年度から2018年度まで延べ3,034名が海外での支援を行いました。2018年10月に上海東洋油墨制造有限公司において、第2回海外拠点・生産ネットワーク会議を開催し、海外拠点の工場マネジメント力の強化を図っています。



第2回海外拠点・生産ネットワーク会議出席者